

予告された回復

キー・ヴァース"山の町々、荒れ地の町々、南の町々、ベニヤミンの地、エルサレム周辺の地、ユダの町々では、群れは再び、告げ知らせる者の手の下を通る、と主は言われる。"
エレミヤ33:13

聖句の抜粋
エレミヤ33:1-13

今日のキー・ヴァースは、エホバが選ばれた民であるイスラエルとエホバの関係について述べている。イスラエルは、神の配慮と祝福と引き換えに、律法と定め契約の下で従順であり続けることを誓った。羊飼いが自分の群れを世話するように、彼らは神に世話されていたのだ。ダビデはこう書いている。主は私に必要なものをすべて与えてくださる。(詩篇23:1)。預言者イザヤは、創造主とその選ばれた民との間のこれと同じ関係を宣言している：「主は羊飼いのように群れの世話をされる。羊飼いのように群れの世話をする。羊飼いは子羊を腕の中に集め

、 。羊飼いは、子羊をその腕に集め、子羊を心に抱く。イザヤ**40:11**

イスラエルの問題は、しばしば神によって任命された自己中心的な羊飼いから生じていた：「私が生きている限り、主権者である主は言われる、あなたは私の群れを捨て、あらゆる野生動物に襲われるままにした。あなたたちは私の羊飼いでありながら、私の羊が迷ったとき、捜さなかった。あなたがたは自分たちの世話をし、羊を飢え死にさせた。”エゼキエル**34:8**

しかし、イスラエルのすべての羊飼いがエホバからの指示を無視したわけではない。多くの預言者たちは、神がいつか羊飼いを遣わし、その羊飼いがすべての国々の中でイスラエルの地位を再び確立することを人々に忠実に告げた。「そのとき、わたしは彼らの上にひとりの羊飼いを任命し、その羊飼いが彼らを養う。エゼキエル**34:23**

神の使いに注意を払っていた忠実なイスラエル人は、ダビデが来るべきメシアを予表することを知っていた。イエスの母マリアは、天使が彼女の前に現れ、彼女が特別な子を産むという知らせを受けたとき、すぐに理解した：「あなたは男の子を身ごもり、産む。その子は偉大な者となり、いと高き方の御子

() と呼ばれるでしょう。主なる神は、彼に父ダビデの王座をお与えになる。"ルカ1:31,32

キー・ヴァースの "tells "という単語は、数を数えるという意味である。エレミヤのメッセージは、イスラエルは大きな罪を犯したが、再びエホバの羊として数えられるようになるということだ。パウロは、福音は "まずユダヤ人に、またギリシア人（異邦人）に "と言っている。(ローマ1:16) 。この聖句は、使徒13 : 46やローマ11 : 25,26などの他の聖句とともに、神の救いの計画にはユダヤ人が優先されるという事実を強調している。しかし、彼らはヨハネによる福音書10章でイエスが語った羊ではなかった。

イエスは、自分がメシアであるかどうかという彼らの質問に答えて、こう言われた。わたしが父の名によって行うわざが、わたしを証ししている。わたしの羊はわたしの声に聞き従う。わたしは彼らに永遠の命を与え、決して滅びることはない。 彼らをわたしにお与えになったわたしの父は、すべての者よりも偉大であり、だれも彼らをわたしの父の手から奪い取ることはできない。"ヨハネ10:24-29